

## 保育子ども学科 前期 専願型入試 よくある質問 Q&A

### Q1

保育子ども学科の前期専願型入試の特徴を教えてください。

#### A1

保育者には、子どもが自分をうまく表現できるように手助けし、子ども独自の表現を引き出す力が求められます。そのような保育者になるためには、ピアノが弾ける、絵が描けるといふ技術だけでなく、他者の思いを読み取り、共感し、また何より自分自身が生き生きと表現を楽しめる資質が求められます。専願型入試では、そのような力をもつ人の選抜を目的としています。

本入試の選考において重視する項目等については、保育子ども学科の理念を理解し、子どもに深い関心を持ち、他者に寄り添うことができることを重視します。

選考に当たっては、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、の3つの観点から総合的に選考します。

なお、2023年度入試では、保育子ども学科専願型入試は「前期」と「3月」のみで行われます。定員数も多く、合格が早く決まる「前期」の受験をお勧めします。

### Q2

オープンキャンパスには、必ず参加しないといけませんか。

#### A2

二つの方法から選択できます。

オープンキャンパスで開催される保育子ども学科 専願型入試ガイダンスを受けるか、本学ホームページより Web 上のガイダンスを受け、この専願型入試の特徴や内容を理解してください。前期専願型入試の出願手続き期間は、9月14日（水）～21日（水）です。

### Q3

エントリーシートは、手書き、PCどちらで作成した方が選考に有利ですか？

#### A3

手書きで丁寧に記述されることを推奨します。保育子ども学科では、実習でも日誌の記述がありますので、選考の際にも記述の内容と合わせて、丁寧に書かれたものかどうか評価の対象となります。それは、将来、保育者になったとき、保護者との連絡ノートの記述等にも役立つと考えるからです。

#### Q4

保育子ども学科の前期専願型入試の第一次審査の内容について、具体的に教えてください。

#### A4

第一次審査は、①書類審査、②個別面接、③論述の①～③を総合的に評価します。③論述では、「保育に関する文献の要約と考察」として、文章を読んで理解する力、その内容についてまとめる力、その内容に沿って自分の意見を表現する力が問われます。日頃から、小説やエッセイなど、ご自分の関心のある分野でよいので本を読む習慣を身につけましょう。また、テレビのニュースや新聞などから、子どもに関してどのようなことが今話題になっているのか、気を付けて見ておくと良いでしょう。

#### Q5

保育子ども学科の前期専願型入試の最終審査の内容について、具体的に教えてください。

#### A5

最終審査は、「個人による表現技術」により選考します。自分の強みを表現できるものを一つ準備してください。例えば、ピアノや遊戯、工作など、ご自分の得意な分野から選んでもよいですし、そうした分野が思い当たらない場合でも、「絵本の読み聞かせ」などを選択することもできます。その場合、読み聞かせをする相手を想定して、絵本のストーリーに沿って、声の大きさ、ページのめくり方、読み聞かせのペースなど、本番に備えて練習しましょう。いずれの場合も、子どもを想定した表現であることです。そして、その表現を選択した理由、想定した子どもの年齢などについて、質問に答えられるように準備してください。

#### Q6

保育子ども学科は、必要な単位を取得すれば、卒業時に幼稚園教諭一種免許と保育士資格が取得できます。私は子どもが好きで、保育子ども学科に入学したいと思いますが、一方で、自分がその仕事に適しているかとの迷いもあります。

#### A6

保育子ども学科では、両免許、資格のためのカリキュラムに基づいて、基礎的概論科目から各論科目へ順に学び、それと並行して2年次から4年次にかけて実践現場での実習が用意されています。実際に子どもと関わり、職員の方々の仕事に取り組む姿に触れながら、体験を通して免許、資格の活かし方を考えましょう。また、本学科は、学生と教員間の距離は近く、進路に関する様々な相談にしっかり対応していきます。